

青年期・成人期



青年・成人期

プロフィール①

氏名			男・女
生年月日	S・H 年 月 日 (西暦:)		
住所	〒 家族同居・一人暮らし・グループホーム		
保護者	住所:		
	氏名: (続柄:)		
	電話番号:		
緊急連絡先	*重要* 急病・災害時にも対応できる連絡先		
	第1	氏名: 関係:	
		電話番号: 職場:	
		携帯番号:	
第2	氏名: 関係:		
	電話番号: 職場:		
	携帯番号:		
出身校			
生活歴	年 月~ 年 月		
	年 月~ 年 月		
	年 月~ 年 月		
	年 月~ 年 月		
職歴	年 月~ 年 月		
	年 月~ 年 月		
	年 月~ 年 月		

主な障害名 (診断名)				
重複障害				
手帳		身体・療育・精神 等級：		
治療 歴	傷病名	医療機関(主治医)	治療期間	現在の状態
		()		治癒・通院中
		()		治癒・通院中
		()		治癒・通院中
服薬の状況				
性格				
身長	cm	体重	kg	
視力	右 (矯正):		左 (矯正)	
聴力	異常なし・右:		左:	
健康・障害・ 発達の特記事項				

	支援の内容・方法	本人の様子	今後の希望
学習面			
生活面			
社会面			
その他			

時期・期間	実習先	内容・体験の様子	感想・評価等

働くことに対して必要な具体的支援

*進路担当の先生や就労支援事業所のアドバイスを記入してもよいでしょう。

生活面：
社会性：
職場：
通勤：
その他特記事項：

意欲	
動機付け	
作業の理解	
安全への配慮	
得意な作業や仕事	
苦手な作業や仕事	
資格・免許	
希望する職種や内容、労働条件	
職種：	給料について
内容：	
労働条件	
週（ ）日勤務 1日（ ）時間勤務	
休日（土・日・祝日・その他 ）	

*大学、専門学校、就職先など

名称	期間	内容	本人の様子

*日中活動や就労支援の事業所、グループホームなど

名称	期間	内容	本人の様子

診断について

診断名	年月日	検査・医療機関名 (担当者)	備考

医師から注意するように言われていること（発作・運動・感染等）

症状・疾患名	何歳頃～	医療機関名	備考
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

[食形態など]

食 形 態 (普通食・その他⇒)
 自分で使える道具 (はし・その他⇒)
 介助の必要 (不要・必要⇒)

[好きな食べ物]

[嫌いな食べ物・食べられないもの]

[アレルギー] 無 ・ 有⇒
 (症状)

[外食について]

- 好きなメニュー：

- 入りやすい店：

[必要な支援の内容]

(成長段階で必要な指導内容についても具体的に記入してください)

[排 尿]

- 一日の排尿回数： 回くらい
- 介助が必要であればその内容

[排 便]

- 排便のリズム：□毎日 □()日おき
 □便秘症()日に一回くらい
- 介助が必要であればその内容

[必要な支援の内容]

(成長段階で必要な指導内容についても具体的に記入してください)
 (ズボンの上げ下ろし、ペーパーの使い方、拭き取り方、手洗いなど)

衣服の着脱

[着る]

[脱ぐ]

[服を選ぶ]

[服を調節する]

[靴下をはく]

[靴を履く]

*着脱についてのこだわり等

清潔・セルフケア

[入浴]

・身体を洗う

・洗髪

[歯磨き]

[洗顔]

[整容]

[爪切り]

[生理の手当て]

*必要な支援内容

(周期: 日・日数: 日) 多い・少ない・普通

つらい症状:

[睡眠]

- 就寝時間 (時 分頃)・起床時間 (時 分頃)
- 睡眠時間 (約 時間)

[睡眠の状態]

- 一人で眠れる 添い寝が必要
- 寝つきが悪い 眠りが浅い 夜中に起きる
- その他 ()

*必要な支援内容

[寝る時の癖やこだわり]

- 具体的な状況：(安心するもの安心できる方法、人形や儀式)

[目覚め方]

[持病]

- 病名 ()
- 病状 (発作の症状、頻度など)

- 注意点

[緊急時の注意点] 医師に伝える必要事項、本人への伝え方など

[移動の様子]

(初めての場所に行くとき・道路を歩くとき・交通機関を利用するときの注意点など)

[通勤・通所・外出について]

(誰かが付き添う、友だちやきょうだいと、一人でできるなど)

[外出や移動に必要な支援内容]

(スケジュールやパンフレットなど見てわかるものがあればいいなど)

[怒り、パニックなど不安定になる前兆の状況]

(表情が変わる、緊張する、声が変わる、爪・唇を噛むなど)

[怒り、パニックなど不安定になる原因や状況]

(行動の中断、予告なしの活動や予定の変更、注目されないとき、騒音、光など)

[怒り、パニックなど不安定になった時の状態]

・どのような状態になるか、どのくらい続くか

・対処法またはしてはいけないこと

・落ち着ける配慮としてどうしたらよいか

・落ち着いた後の配慮としてどうしたらよいか

[感覚の特性]

(音、見えるもの、におい、感触、触られることなど)

*留意すること

[こだわりのある行動]

(物を並べる、順番、時間、おなじことを何回も言うなど)

*こだわっていることに対する配慮や対処

*生活上で困っている問題行動への対応など

[社会的ルール]

- 理解する必要のあること（人に尋ねられるか、公共の施設や交通機関の利用、買い物、短時間一人でいられるかなど）

[人との関わり]

- 職場、通所先での対人関係
- 家族や友人との対人関係
- 支援者との関係
- 苦手とする人

[コミュニケーションについて]

- 理解のために必要な配慮
（穏やかに話す、絵カードやジェスチャーが必要、筆談が必要など具体的に）

[終業後の活動]

[休日の過ごし方]

[好きな活動・興味のあること]

[苦手・嫌いなこと]

[やってみたいこと]

自立チェックシート（就労編）

- *記入の仕方 : / あてはまらない
 △ どちらともいえない
 ○ あてはまる

項目		年 月	年 月	年 月
日常生活	1 定時に起床する			
	2 規則正しい生活ができる			
	3 規則正しく食事が摂れる			
	4 自分の健康管理ができています			
	5 体調不良時に対処できる			
	6 身だしなみがきちんとしている			
	7 整理整頓ができる			
	8 金銭管理ができる			
	9 自分の障害や症状を理解している			
	10 自ら援助を求めることができる			

自立チェックシート（就労編）

項目		年 月	年 月	年 月
働く場での対人関係	1 あいさつができる			
	2 その場に応じた会話ができる			
	3 相手やその場に応じた言葉遣いができる			
	4 周りの人の表情や声の調子などの非言語コミュニケーションが理解できる			
	5 協調性がある			
	6 感情が安定している			
	7 自分の意思を相手に伝えられる（言葉以外の伝え方でもよい）			
	8 他の人との共同作業が行える			
働く場での行動・姿勢	1 一般就労への意欲が強い			
	2 仕事への意欲が強い			
	3 自らの仕事に対する能力が自覚できている（勤務日数・時間・内容の把握）			
	4 働く場のルールを理解している			
	5 仕事内容の報告ができる			
	6 欠勤・遅刻の連絡ができる			
	7 仕事をまじめに取り組むことができる			
	8 決められた仕事の時間を持続させることができる			
	9 指示内容が理解できる			
	10 自らの仕事のミスを自覚し、報告できる			
	11 危険な場所や危険物に注意することができる			
	12 環境の変化に対応することができる			

日常生活動作（身辺自立）

	一人でできる	手伝えばできる	できない
定時に起床			
食事をとる			
身支度を整える			
入浴をする			
排泄をする			
更衣をする			
通勤をする			

社会生活能力①

	一人でできる	手伝えばできる	できない
計算をする			
長さや重さを理解する			
時間を把握する			
危険物に対して注意をする			
整理整頓をする			
目的地に行って帰ってくる			
公共交通機関を利用する			
車や自転車を運転する			
挨拶をする			
返事が必要なときに返事をする			
何かあった時に報告をする			
伝言をする			
氏名・住所・生年月日などを記入する			

社会生活能力②

	一人でできる	手伝えばできる	できない
周囲の人の仕事の邪魔をしない			
責任を認識して仕事をする			
決められた規則を守る			
電話を利用する			
留守番をする			
礼儀正しく振舞う			
自分の健康を管理する			
与えられた仕事を最後まで実行する			
状況を判断して行動する			
お金を使って物を売買する			
緊急時に救援を求める			
分からないことを尋ねる			
文字を書く			
数の概念を理解する			
計算する			

<その他の特記事項>

青年・成人期

思い出をつくろう

成人された年の写真を貼ってください

*今の願いや希望を書いてください 記入 年 月

青年・成人期

思い出をつくろう

*保護者の方からのメッセージを書いてください。

^

より